

平成二十三年十月臨時会 建設企業委員会委員長報告

六番 小林 治晴でございます。

私から、本市議会臨時会におきまして、建設企業委員会に付託されました諸議案の審査の結果につきまして、御報告申し上げます。

審査の結果につきましては、お手元に配布されております建設企業委員会決定報告書のとおりに決定した次第であります。

次に、委員会において論議され、市当局に要望いたしました主なる事項について申し上げます。

議案第八十四号 平成二十三年度長野市一般会計補正予算のうち、歳出、第八款土木費、第六項住宅費について申し上げます。

今回の補正予算では、先月一日に募集を行い、予想を大幅に上回る申込みがあった住宅リフォーム補助金三千万円が追加されます。

前回の五千万円の補正予算では、約五億五千万円程度の工事が実施され、大きな経済効果をもたらしました。また、この事業は、住宅の耐震化にも資する面もあり、大変効果が大きいものであります。

来年度以降も切れ目のない事業展開を図ることで、更なる景気浮揚が実現いたしますので、平成二十四年度以降も大幅な予算増額を図るなど、より積極的な予算措置を要望いたしました。

また、九月一日の受付においては、駐車場の渋滞や受付に時間がかかったこと、また並んだが補助を受けられない市民が出てしまうなど、いくつかの課題が生じました。

そこで、今回の受付においては、業界団体による事前審査を導入するなど、創意工夫により、混乱なく受付できる体制の構築を要望いたしました。

併せて、希望者全員が補助を受けられる手だての検討についても要望いたしました。

以上で報告を終わります。